

2019年5月31日
九州電力株式会社

松浦発電所2号機の発電を開始します
-2019年6月1日から試運転による発電を開始-

当社が長崎県松浦市にて建設中の松浦発電所2号機は、2016年1月以降、土木建築工事、機器据付工事を進めてまいりましたが、明日から試運転による発電を開始します。

今後は、順次出力を上昇し、法令に定められた保安検査、機器の調整、性能試験などを行い、2019年12月に営業運転を開始する予定です。

松浦発電所2号機は、最高水準の技術を導入し、環境負荷の低減を図るとともに、再生可能エネルギーの出力変動にも柔軟に対応してまいります。

当社は、今後もS（安全性）+3E（エネルギーの安定供給、経済性、環境面）の観点から、各種電源の特徴を活かした、バランスのとれた電力供給体制を構築してまいります。

松浦発電所2号機の概要

	2号機	[参考] 1号機 (1989年6月運開)
所在地	長崎県松浦市志佐町白浜免字開発2091番地1	
出力	100万kW	70万kW
発電方式	超々臨界圧 ^{※1} 微粉炭火力	超臨界圧 ^{※2} 微粉炭火力
燃料	石炭	
発電端熱効率 (低位発熱量基準)	約46%	約43%


※1：蒸気圧力が22.1MPa以上かつ主蒸気温度が566℃を超える設備

※2：蒸気圧力が22.1MPa以上かつ主蒸気温度が566℃以下の設備

主な経緯

- 1998年 1月 環境調査開始
- 2001年 3月 工事着工（工事計画届出）
- 2004年 6月 工事中断（電力需要想定が下がったため）
- 2016年 1月 工事再開（2015年11月工事計画変更届出）
- 2019年 6月 発電開始（予定）
- 2019年 12月 営業運転開始（予定）

以上



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。

ずっと先まで、明るくしたい。